

## カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター

実施機関名： パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社

26-22-12-132-050

A. バックオフィス	132 生成AIの活用
新技術活用	

コースのねらい	生成AIの概要とビジネスの現場における、具体的な活用シーン等について理解し、AIと協働することによる業務の質とスピードを高める技術を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程	
					月 日	時刻
講義内容	1	生成AIの概要	(1) 生成AIの概要 ・AIとは？ 生成AIとは？ ・LMとLLM、主要な生成AI ・機械学習、生成AIの学習 ・生成AIができること、不得意なこと ・プロンプティング ≪個人&グループワーク≫  (2) 守るべき倫理、安全性、透明性、責任等 ・情報漏洩の課題 ・セキュリティとプライバシー ・個人情報保護の観点 ・制作物に関わる権利 ・AIの活用に関する社会的な指針、遵守すべきAI社会原則 ・AI新法の概要	2.0	令和8年 9月24日(木)	9:30～16:30  昼休憩 12:00～13:00
	2	生成AIの活用事例と今後の展望	(1) 生成AI活用事例 ・生成AIの活用領域 ・生成AI事例紹介 ・事例探索 ≪個人&グループワーク≫  (2) 生成AI導入体験 ・戦略・目的に活用する ・日常業務に活用する ・データ分析に活用する ・人材採用・キャリアプラン作成に活用する ・組織分析・感情分析に活用する ・契約書分析に活用する ・業務課題に活用する ≪個人&グループワーク≫  (3) 多様なAIを業務へ応用 ・生成AIの単独使用から既存業務の連携へ ・AIエージェント、RAG、エージェントAI、MCP ・メール返信文書、議事録、提案書等の自動作成 ≪個人&グループワーク≫	4.0		
合計時間				6時間		

カリキュラム作成のポイント
以下のポイントでカリキュラムを作成しております。 ①ある程度生成AIの使用経験のある方、これから活用を検討している方の参加を想定しております。 ②生成AIの概要から具体的な活用事例までを解説し、個々に自社の業務及び自分の仕事で活用できる事考えるヒントを見つけさせていただきます。 ③生成AIを活用する際に気をつけなければならない倫理・安全性・透明性・責任等の解説を行い正しく活用いただける様に導きます。